Business Report ｜ 証券コード:2498 ｜ 2014.10.01 - 2015.09.30

ビジネスレポート 10周年記念号

株式会社 ACKグループ

01 … ごあいさつ
03 … セッション1 社長講話
05 … セッション2 パネルディスカッション
11 … セッション3 記念講演
13 … 祝賀会
17 … 第10期のご報告・財務ハイライト／株式の状況 ほか

社会価値創造企業への挑戦

～更なる成長に向けて～

感じてますか 未来の鼓動
株式会社ACKグループ
ACKG

ごあいさつ

ACKグループ 10周年記念

～記念式典及び祝賀会 開催のご報告～

株主の皆さまには、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。弊社グループは、前身となるオリコンサルグループを経て、2006年８月28日に現在のＡＣＫグループとなり、このたび設立10年目を迎えました。おかげさまで、設立時から売上高および役職員数とも、約２倍以上の規模に成長することができました。

10周年を記念いたしまして、“更なる成長に向けて”をテーマに、「ＡＣＫグループ10周年記念　記念式典及び祝賀会」を、2015年８月28日にベルサール新宿 グランドホール（東京都新宿区）にて開催したことを、ここにご報告いたします。東京会場をメイン会場とし、全国10地域とのインターネットライブ中継により実施いたしました。

今後とも皆さまのご期待にお応えできますよう、役職員一同、更なる成長に向けて邁進していく所存です。株主の皆さまには、今後ともより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2015年11月吉日

株式会社ACKグループ 代表取締役社長

野崎 秀則

ACKグループ 10周年記念行事

～更なる成長に向けて～

2015年8月28日（金）　会場：ベルサール新宿 グランドホール

［記念式典］

開　場

開会の辞

セッション１　**社長講話**

ＡＣＫグループ 代表取締役社長　野崎 秀則

セッション２　**更なる成長に向けて**

プロジェクト発表

パネルディスカッション

セッション３　**記念講演**

目標達成へのプロセス
～ソーシャルフットボール～

プロサッカー指導者／佐々木 則夫氏

閉会の辞

［祝賀会］

開　場

開会の辞

ＡＣＫグループ社長あいさつ

来賓あいさつ

地域連携宣言

鏡開き

乾杯あいさつ・乾杯

閉会の辞

Session 01

セッション1
社長講話

「変革」と「挑戦」、「連携・協働」を継続して『社会価値創造企業』へ。

ACKグループ設立から10年。この間、売上高と役職員数は約２倍の規模に成長し、2020年ビジョンである『社会インフラ創造企業』を目指して、事業を推進しています。そして、更なる成長に向けて、国内・海外のニーズをふまえた新たな価値を生み出し、魅力ある社会の実現に貢献します。

株式会社ACKグループ
代表取締役社長
野崎 秀則

設立時の原点を忘れることなく、着実に成長を持続

ACKグループは設立10周年を迎え、着実に成長してまいりました。これまでの歩みをふり返るとともに、今後の方向性についてお話ししたいと思います。

前身となるオリエンタルコンサルタンツの創立は1957年。1999年にJASDAQに上場、2006年にACKグループを設立し、10年目を迎えました。第１期の売上高は約170億円で、今期の売上高の見込は約370億円。役職員の人数も、約900名から約1800名へ２倍の規模となり、グループ会社６社とともに、着実に成長してきました。

我々の原点となるミッション（使命）は、「世界の人々の豊かなくらしと夢の創造」です。そして５つのバリュー（価値観）を設立時に設定し、社員満足・顧客満足・社会貢献に取り組んできました。企業の成長とは、単に売上高が伸びればいいというわけではありません。企業ブランド、技術力・サービス力、企業規模という３つの成長により、ミッションを実現できるのだと思います。

基本方針と強化方針を掲げて重点化事業を中心に事業を拡大

いま推進している2020年のビジョンでは、『社会インフラ創造企業 ～自らが社会を創造する担い手となる～』というスローガンを掲げています。テーマは「変革」と「挑戦」の２つ。これは、受動型ビジネスから主導型ビジネスへの転換と、自ら投資し事業経営を進めていこうというものです。

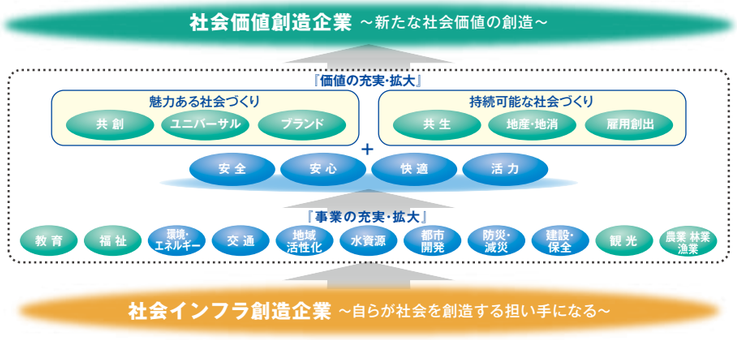
そのための基本方針を３つ定めました。「強みの活用」は、交通運輸・海外事業を活用すること。「事業創造」では既往事業を拡大しつつ、総合化や事業経営につなげます。そしてコンサルタントは人材がすべて。「育成と連携」を進める方針です。

そして昨年、「個の強化」「連携の強化」「３軸市場の競争力強化」という、３つの強化方針を打ち立てました。個々の技術を磨き、グループの連携を高め、国内公共・国内民間・海外という３つの市場で自立した事業を推進しながら、そのリソースを相互の市場で展開します。

具体的な2020年の経営目標として、売上高500億円以上、営業利益20億円以上、重点化事業を1.5倍に拡大することを目指します。事業拡大の基盤となる社員を500名以上増員し、組織基盤をさらに整備してまいります。

未来を想像し、価値を創造しよう！社会価値創造企業へと進化

本日、私が役職員のみなさんに強くお伝えしたいのは、「更なる成長に向けて」ということです。現在のACKグループは重点化プロジェクトを中心に、「環境・エネルギー」「交通」「地域活性化」「水資源」「都市開発」「防災・減災」「建設・保全」など、安全・安心・快適・活力につながる社会づくりに貢献しています。この現状に対して、国内・海外のニーズを考えてみたいと思います。



国内では、人口減少・少子高齢化による地域活性化・地方創生が課題です。そして首都直下型・南海トラフなど巨大地震やさまざまな自然災害に対して、国土強靭化が求められています。さらに国際競争の激化や東京五輪開催などに向けて、グローバル化・ユニバーサル化を進める必要があります。

海外でも課題が山積しています。エネルギー供給、食料・水の確保、環境・気候変動、地震・豪雨などの災害、感染症・国際テロなど多様な問題に対して、質の高い対応力が求められています。

これら国内・海外のニーズをふまえた時、我々にできることは何か。新たな社会価値を考え、新たな事業領域に踏み出すべきではないでしょうか。現在推進している重点化プロジェクトに加え、「教育」「福祉」「観光」「農業・林業・漁業」などの産業にも事業領域の拡大を図る必要があります。

共創や地域ブランドづくりを進め、高齢者・障がい者・外国人などすべての人たちにとって「魅力ある社会」を実現する。環境と共生し、地産・地消や雇用創出によって、「持続可能な社会」を実現する。これにより、『社会価値創造企業』を目指したいと思います。そして、10周年を契機にCSR版重点化プロジェクトをスタートするとともに、総合プロジェクトを展開してまいります。

『社会価値創造企業』を目指すためには、継続的な「変革」と「挑戦」が欠かせません。そして、グループ会社同士の「連携・協働」を推進し、新たな価値を生み出すことで次の成長へとつながります。未来を想像し、価値を創造しよう！ 未来を変えるのは我々自身です。更なる成長に向けて、グループ一丸となって社会に貢献したいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

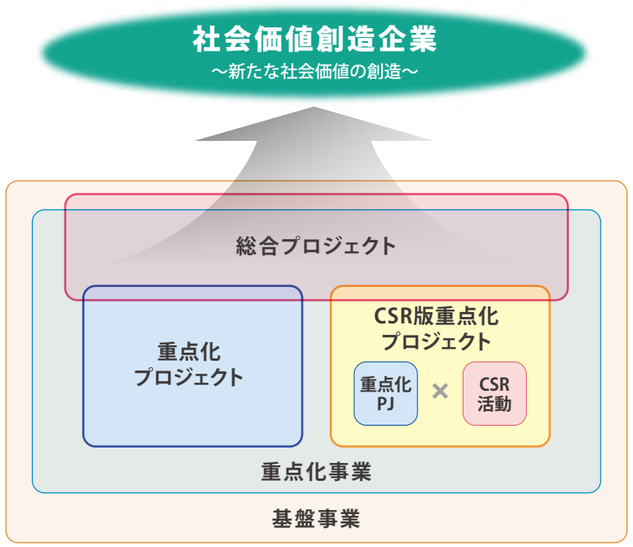
Session 02
セッション２
パネルディスカッション

新たな社会価値を生み出すプロジェクト が、続々とスタート。

10周年を契機として始まった「ＣＳＲ版重点化プロジェクト」と、国内・海外において持続可能で魅力ある社会づくりに貢献する「総合プロジェクト」。これらの事業を推進する、次代のリーダーたちによるプレゼンテーションとパネルディスカッションを開催。ＡＣＫグループの新たな取り組みをご紹介いたします。

テーマ
「更なる成長に向けて」

■ 社会価値創造企業への取り組み



『社会価値創造企業』への取り組みは、基盤事業と重点化事業の２つの柱で進める。重点化事業は、「重点化プロジェクト」と「ＣＳＲ版重点化プロジェクト」を軸に進める。さらに重点化プロジェクト、ＣＳＲ版重点化プロジェクト、基盤事業を組み合わせた「総合プロジェクト」を、国や地域へと幅広く展開する。

Chapter 01

社会が求める「事業」「価値」とは？

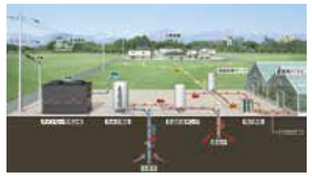
――まず、社会が求める「事業」「価値」をふまえ、簡単にプロジェクトの概要をご紹介ください。

岡本　砂蒸し風呂で知られる鹿児島県指宿市は、数多くの温泉や国内第７位の規模となる九州電力山川発電所を有するなど、地熱エネルギーが豊富な地域です。私はここで、従来は別物であった地熱発電とハウス栽培、温泉給湯を複合した事業に取り組んでいます。マンゴー栽培などの農業と、地熱によるエネルギーの地産・地消を実現し、地元の方が参加しやすい事業に付加価値をつけて実施。地域活性化を目指しています。発電・ハウス栽培には当社自らも出資しており、当社の施設を地域の方に有効活用していただき、農産物のブランド化を支援しています。

食のよろこびを届ける 地熱利用プロジェクト

地熱発電 農　業

エネルギーの 地産・地消



久川　島根県は全国でも２番目に多く土砂災害危険箇所の指定を受けるなど、災害に対して意識の高い地域。今回協働する雲南市でも、自治会や自主組織などが中心となって、防災に取り組んできましたが、自主組織ゆえに十分な取り組みに至っていませんでした。そこで、インフラ保全の仕組みにＩＣＴを導入することで、地域防災サービスの向上を目指します。具体的には、地域住民が問題箇所の情報をスマートフォンなどで通報。雲南市は優先順位を考慮し、問題箇所の対策を行うというものです。これら防災事業に加え、ＣＳＲ活動として、防災上の危険箇所の判断ポイントを指導する「防災まち歩き」を行い、防災意識の向上を図ります。住民の「自助」「共助」意識を高め、安心・安全の実現に貢献します。

自助防災の支援による 地域安全プロジェクト

防　災 保　全

安全・安心

西原　石川県白山市の山間部では、雄大な自然などの魅力があるものの、少子高齢化や若者の市街地流出が続き、地域活性化が大きな課題となっています。当社では地域交流施設の利用や食育などに着目し、利用者増加と地域住民の雇用創出を支援しています。野菜の栽培・収穫体験、キッズバザーによる野菜販売などを通して、子どもたちが伝統・文化を知り、地域への愛着を持って成長できる環境づくりを目標に取り組んでいます。

地域交流と食を育む 施設運営プロジェクト

施設運営（事業経営）

地域交流 食　育

清見　うきは市は福岡市から車で約50分という好立地にあり、西日本随一の富有柿、古墳や伝統的な茅葺き民家など歴

観光情報配信サービス プロジェクト

観　光

魅力ある社会 郷土愛

史的価値の高い遺跡・建造物など、多くの観光資源を有しています。ところが、観光案内人の不足と高齢化、観光客の立寄箇所数が少ないことに苦慮していました。ここに着目し、実証実験として、ＩＣＴを活用した地域観光支援サービスを提案。ビーコンと呼ばれるＩＣＴツールを使って、観光スポット情報やお店のクーポンを配信して、立ち寄り先を増やし、消費を促すことで地域活性化を図ります。また、地元小学生の郷土学習を支援し、地域の魅力を発見して、郷土愛を育むＣＳＲ活動を行っています。この学習結果を観光情報として発信することで、観光事業の付加価値にもつなげていこうと考えています。

石川　昨今、ＯＤＡが縮小傾向にあるなか、海外コンサルタントは従来のモデルから脱却し、事業を通じた社会問題の解決が求められています。

近年５～６％の経済成長を遂げるインドネシアは、エネルギーの安定供給が国家的な課題です。2008年より参画したハサヌディン大学の施設整備事業では、施設の計画・設計及び入札監理・施工監理を担当してきました。これを発展させ、同大学施設のスマート化事業に着手します。エネルギー消費量の見える化、再生可能エネルギー導入など、効率的な施設管理を実現。これはインドネシア初の大学施設スマート化となります。また、寄附講座を実施して国際エンジニアの育成を支援し、同国の経済発展に貢献したいと考えています。

柴田　急速に民主化が進むミャンマーでは、世界各国からの投資活動が活発化しています。日本政府は2012年に毎年1,000億円規模の円借款を再開するなど、同国への影響力を高めています。当社では2013年に現地法人を設立し、すでに港湾開発や鉄道事業など複数のプロジェクトに参画。特に、重要な交通ネットワークとなる経済回廊開発では、当社の強みを活かした技術力が高く評価されてきました。

開発途上国で求められるのは、貧困の撲滅や経済格差の解消につながるプロジェクト。安全・安心・快適・活力という価値を提供しなければなりません。

大学施設スマート化 プロジェクト

施設 スマート化

持続可能な社会 知の伝承

海外における 国家的プロジェクトの展開

基盤事業

安全・安心 快適・活力

中埜　私は、群馬県前橋市でオリエンタル群馬という子会社を立ち上げ、地域活性化に取り組んできました。平成24年、群馬県立敷島公園の指定管理事業を受注したことを契機に、３年以上の活動となります。公園の運営管理だけでなく、事業経営、政策提言、コンサルティングなど、基盤事業と重点化事業を駆使しながら総合的な展開を図っているところです。これらを通じて、魅力ある社会づくり、地域の雇用創出に貢献しています。

前橋市からは、地方創生のプロデューサーとしての役割を期待されています。アドバイスだけでなく、プロジェクトとして実践し、成果を出す企業。そう認識していただいているからこそ、継続的な貢献が果たせていると考えています。

地域密着による 総合プロジェクトの展開

地域活性化

魅力ある社会 雇用創出

Chapter 02

我々が取り組むべき行動とは何か？

――では次に、事業や価値の拡大を図るために、我々が実践すべきこととは何でしょうか。

西原　施設運営によって、地域活性化と施設運営のノウハウを学び、事業経営や公共施設の包括管理へと展開する。そう戦略を立ててプロジェクトを開始しました。まずは、地域の特徴や資源をよく理解し、住民の意見を尊重しながら地域活性化の効果的な手法を検討する必要があります。地域とともにチャレンジする姿勢を忘れてはなりません。

岡本　これまで当社は、民間企業を顧客とした、受託業務が中心でした。技術には自信がありますが、昨今の社会環境においては、技術の追求だけでは社会貢献につながりません。やはり主導的に社会の課題を見つけ、解決する姿勢が大切だと思います。これにはマネジメント力や交渉力、ファイナンスの知識などが必要。これらを貪欲に吸収し、責任と覚悟を持って行動する意志が求められます。

中埜　オリエンタル群馬を設立した経験から、地域に会社を作る意義は２つあると考えています。１つ目は、地方創生のために地域に根付き、文化や風土を理解しながら事業展開すること。高い志

パネラー紹介（敬称略／順不同）

株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング
エンジニアリング事業企画室 室長　岡本 俊哉

株式会社エイテック
中国支社 支社長 兼 空間事業推進室 室長　久川 真史

株式会社中央設計技術研究所
プロジェクト開発部 部長 兼 株式会社白山瀬波 代表取締役社長　西原 秀幸

株式会社リサーチアンドソリューション
事業戦略室 室長　清見 光生

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル
総合開発事業部 建築開発部　石川 祥平

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル
執行役員 グローバルソリューションズ事業部長　柴田 純治

株式会社オリエンタルコンサルタンツ／株式会社オリエンタル群馬
プロジェクト開発部 次長 兼 ㈱オリエンタル群馬 代表取締役　中埜 智親

食のよろこびを届ける地熱利用プロジェクト

株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング　鹿児島県指宿市

パネラー 岡本 俊哉

エンジニアリング事業企画室
室長

橋梁設計などの業務を経て、ACKグループでは経営企画を担当する。その後、金融系のシンクタンクへ出向。現在は再生エネルギー分野の事業創出、地域活性化の事業形成に携わる。

期待のコトバ

指宿市長
豊留 悦男 様

「地熱の恵みを市民に還元。エネルギーの地産・地消や農産物のブランド力向上に期待」

自助防災の支援による地域安全プロジェクト

株式会社エイテック　島根県雲南市

パネラー 久川 真史

中国支社 支社長 兼
空間事業推進室 室長

測量会社勤務の後、入社後は空間情報分野に携わる。空間事業の高度化・裾野拡大に向けた防災やインフラ保全への活用、最近ではUAV技術の推進にも関わっている。

期待のコトバ

雲南市長
速水 雄一 様

「提案して頂いた防災まち歩きは市が目指す方針と一致。安全なまちづくりに邁進したい」

地域交流と食を育む施設運営プロジェクト

株式会社中央設計技術研究所　石川県白山市

パネラー 西原 秀幸

プロジェクト開発部 部長 兼
株式会社白山瀬波 代表取締役社長

入社後、水道の計画・設計・施工監理など全般の業務を担当。技術営業部、岐阜事務所勤務を経て、現在はプロジェクト開発に従事する。水道の事業経営、地域活性化に取り組む。

期待のコトバ

白山市瀬波地区 地域代表
橋本　徹 様

「人口減少や少子高齢化が課題。伝統と文化の継承や、地域の活性化へ大きな期待」

を持って、地域の課題に取り組む姿勢を示すことができるからです。

２つ目は、帰属意識が向上し、より深く理念や目標を共有して、ビジネスを加速できること。現在40名以上いる社員は、ほとんどが前橋市をはじめ群馬県出身者。地域に精通しており、地元企業と連携を進める上での潤滑油として作用しています。地域の雇用を創出できる事業を展開し、地元の人材を育成する。これが私の目標ですね。

柴田　いま、タイ未来都市というＪＩＣＡ調査に参加していますが、この調査では地方都市の中からパイロット都市がいくつか選択されます。今後、我が国のＯＤＡを活用するインフラ案件では、持続可能な開発目標が必要になります。この目標の１つに「継続的、包括的かつ持続可能な経済成長、すべての人に対する完全かつ生産的な雇用と適切な雇用の促進」があります。これが達成できれば、地方都市において適切な雇用が創出でき、生産人口がバンコクなど大都市に集中せず、地方で豊かな暮らしができるようになるかもしれません。

石川　海外では５～10年という長期間にわたり、事業形成から工事まで、１つの大規模プロジェクトに関わることもめずらしくありません。そこでは様々な課題に直面します。これらの課題に対して受動型から主導型への変革が必要と考えています。自ら社会の課題を発見し、事業形成まで企画・提案する主体的な行動が求められます。

久川　地域の防災力向上には、自発的かつ協働的な被害軽減活動が効果的と言われています。我々はまず地域に入り込み、防災まち歩きや住民との意見交換を行い、実用的な防災マップを作成して、防災意識を高めます。また、防災上の問題点を共有できるＩＣＴを導入して、自治体にもメリットを創出する。「官・地域・コンサルタントの三方よし」を構築することが大切だと思います。

清見　私どもはＩＴ提案を強みとしており、事業全体のコーディネートを自社だけで行うのは難しい。そのため、ＯＣを中心としたグループ連携の強化がポイントになります。ＯＣの持つ先駆的な事例やノウハウと、当社が保有する官公庁顧客とのネットワークを組み合わせ、うきは市のビジネスモデルを各地域版としてカスタマイズしたい。官公庁顧客の情報をキャッチし、提案へのチャンスメイクに力を入れたいと思います。

Chapter 03
我々が実現したいことは何か？

――今後実現したいことについて伺えますか。

清見　社会の課題を見つけ出し、これを解決すること。多くの官公庁顧客と太いパイプがあるものの、果たして現在、主導的に行動できているか…。積極的に解決策を提案できるようになれば、もっと事業拡大が図れると感じています。

西原　当社の経営を支える土台は今までも、そしてこれからも地域だと思います。地域を元気にすれば、当社も元気でいられる。だからこそ、重要顧客である白山市を選び、そこに根ざした地域活性化に取り組みます。この活動を通じて信頼関係を深め、包括管理などの事業経営に発展させ、当社の持続的な成長につなげていきたいと思います。

石川　エネルギーのニーズは、開発途上国において共通したもの。施設を造るだけでなく、ライフサイクル全体で施設の性能を的確に維持することで、社会価値を創造したい。スマート化が大学だけでなく、都市レベルに拡張できるよう持続可能な社会に貢献したいですね。

柴田　これからはすべての企業に社会性が求められると思います。今回実施するＣＳＲ版重点化プロジェクトは、単なる寄付行為ではなく、ＡＣＫグループが提供するサービスと結びついている。海外の国家レベルのインフラ事業に取り組むのと併行して、ＣＳＲプロジェクトを発掘して実践し、社会とともに成長したいと思います。

久川　当社の中国支社は島根県に拠点を持ち、地域密着型で活動してきました。社員もまた地域住民として、消防活動や自治会活動に携わっている者も多い。内部事情や課題を、事前に議論できたことも大きかったと実感しています。今回の取り組みを通じて、私たち一人ひとりが「社会を創造する担い手」となることが、これからの目標だと考えています。

中埜　オリエンタル群馬では、すでに様々な試みにより、新たな価値を提供しています。現在の取り組みを発展させ、複数の施設を運営管理するノウハウを蓄積し、事業収益性の向上を図る。そして、指定管理事業を軸として、地方創生を展開するビジネスモデルを構築したいと思います。地域ごとに課題は様々です。これらに対して積極的にチャレンジし、地方創生のプロデューサーとして地域に貢献したいですね。

岡本　主導型での課題解決という考え方は、まだグループ全体に浸透し切れていません。顧客の課題解決だけではなく、社会的な課題を顧客の課題と照らし合わせて解決を図るという視点も大切です。少数ではなく、グループ全体で取り組む風土を定着させたい。これが当社グループのミッションである「世界の人々の豊かなくらしと夢の創造」を実現する第一歩だと思います。

――本日はありがとうございました。

コーディネーター

株式会社ＡＣＫグループ
取締役　事業戦略担当
青木　滋

ACKグループの事業戦略担当として、重点化事業などを統括。2013年より現職。

観光情報配信サービスプロジェクト

株式会社リサーチアンドソリューション　福岡県うきは市

パネラー　清見 光生

事業戦略室 室長

福岡本社営業部では、土木積算システムを九州の自治体に販売し、シェア拡大に尽力。その後、民間営業部に異動し、スマートデバイスを活用した提案を行う。現在は新規事業創出を推進中。

期待のコトバ

うきは市長
高木 典雄 様

「情報発信におけるＩＣＴ活用で、新たな活気と交流を生み出すきっかけになると実感」

大学施設スマート化プロジェクト

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル　インドネシア共和国

パネラー　石川 祥平

総合開発事業部 建築開発部

入社後はカタール全国総合開発計画に従事。2012年から現在まで、ハサヌディン大学工学部整備事業のマネジメントに携わる。案件形成、建築設計、入札、施工監理など担当業務は幅広い。

期待のコトバ

ハサヌディン大学学長
ドゥウィア・アリス・ティナ 様

「このプロジェクトが見本となり、国内の様々な施設のスマート化に寄与することを願っています」

海外における国家的プロジェクトの展開

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル　ミャンマー連邦共和国

パネラー　柴田 純治

執行役員
グローバルソリューションズ事業部長

25年以上にわたり国際協力機構、現地政府、民間企業の国家開発計画、地域・都市計画、総合交通計画など、東南アジア・南アジア・南米・アフリカと様々な国で活動。2014年10月より現職。

地域密着による総合プロジェクトの展開

株式会社オリエンタルコンサルタンツ／株式会社オリエンタル群馬　群馬県前橋市

パネラー　中埜 智親

プロジェクト開発部 次長 兼
㈱オリエンタル群馬 代表取締役

景観の業務に従事後、ACKグループを経て、東京大学大学院でまちづくりの専門知識を習得。震災復興業務を経験した後、子会社を設立して地域活性化事業を実践するために奮闘する。

期待のコトバ

前橋市長
山本　龍 様

「地方創生のプロデューサーとして今後とも前橋市とともにまちづくりに貢献してほしい」

Session 03

セッション3
記念講演

佐々木則夫氏が語る！「目標達成へのプロセス ～ソーシャルフットボール～」

2011年、女子ワールドカップドイツ大会で世界一。2012年、ロンドンオリンピックで銀メダルを獲得。そして2015年、女子ワールドカップ カナダ大会で準優勝。監督就任後、短期間で数々の輝かしい実績を挙げてこられた、なでしこジャパン監督の佐々木則夫様をお招きし、記念講演を行っていただきました。

プロサッカー指導者　佐々木 則夫 氏

1958年山形県生まれ。高校時代にインターハイ優勝を経験。大学、社会人を通じて選手として活躍し、引退後は指導者としての道を歩む。2007年に日本サッカー協会日本女子代表（なでしこジャパン）監督に就任。2011年にはＦＩＦＡ女子ワールドカップドイツ2011で、日本サッカー初の世界一へ導く。2012年のロンドン五輪では、日本サッカー史上初の銀メダルを獲得。2015年のＦＩＦＡ女子ワールドカップカナダ2015において準優勝。その指導力は高く評価されている。

記念式典の締めくくりは、サッカー日本女子代表（なでしこジャパン）を率いる佐々木則夫監督による記念講演。約90分にわたり、「目標達成へのプロセス」をテーマに貴重なお話をお伺いし、役職員全員が多くのことを学ぶことができました。

高い目標を設定し、チームで共有することが重要

ご講演は、なでしこジャパンの命名エピソードなど、和やかな話題から始まりました。2007年当時、ＦＩＦＡランキングは11位、女子サッカーの登録人口は３万５千人。（ランキング１位のアメリカは登録人口160万人）その状況において、「2015年に女子ワールドカップ優勝」という、大きなビジョンを掲げたことが紹介されました。

ところが、2015年女子ワールドカップ優勝のビジョンは、なんと2011年ドイツ大会で達成。このような短期間に急成長を果たすことができた理由として、女子ワールドカップ優勝という高い目標を設定したこと、それをチームメンバーやスタッフと共有できたことが重要であると、お話しいただきました。

人と人のつながりをもたらすソーシャルフットボールの真髄

さらに、「戦略・戦術を徹底すること」「チームとしての知性を高めること」「コミュニケーションが重要であること」「プレイヤーズ・ファーストの思想に立つこと」などが、目標達成に必要な要素であるとご教示いただきました。

具体的には、チームのウィークポイントとストロングポイント（弱みと強み）を理解し、目標達成のために戦略・戦術を徹底する。次に、勝つためには監督の指示を待つのではなく、チームを構成するメンバー個々人が自主的に考えて判断できるよう、知性を高める。さらに、チームの問題・課題と戦略・戦術を、目標達成に向かう仲間として共有し、信頼関係を築くコミュニケーションが重要であること。最後に、プレイヤーズ・ファーストの思想で、プレイヤーの能力を最大限に発揮できる環境づくりが大切だというお言葉をいただきました。

ＡＣＫグループの更なる成長に向けて、大変示唆に富む貴重なご講演をいただき、大盛況のうちに幕を閉じました。

祝賀会

Celebration

株式会社三井住友銀行
常務執行役員 東日本第一営業本部長
池田 剛久 様

「会社の発展と皆さま方のご健勝を祈念」

前身となるオリエンタルコンサルタンツが
昭和32年に会社を創立されて以来、
長くお付き合いさせていただいております。
この10年間をふり返りますと、
東日本大震災に代表される
多くの自然災害で被害が発生するたびに、
安全・安心な国土づくりに貢献されてきました。
ＡＣＫグループ様のさらなるご発展と、
本日お集まりの皆さま方のご健勝を祈念し、
私からのお祝いの言葉とさせていただきます。
本日はまことにおめでとうございます。

株式会社ACKグループ
代表取締役社長
野崎 秀則

「皆さまとともに、更なる成長を実現」

設立からおかげさまで10周年を迎え、
我々は着実に成長してまいりました。
これまでの規模・体制の成長だけではなく、
今後は企業価値も高めなければなりません。
地域とともに、国とともに、社会とともに、
全力で、社会価値創造企業を目指します。
役職員一人ひとりの成長と幸せのため、
これからもみなさんと一緒に
更なる成長を実現したいと思います。
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

株式会社ACKグループ
相談役 会長
廣谷彰彦

「10周年は、新たな出発への門出」

記念行事を準備していただいた皆さま方、
ご多用のところご参会いただいた来賓の方々、
役職員のみなさんに心より感謝申し上げます。
思い起こせば10年前の設立当時、
みなさんと議論しながら会社を作ってきました。
培った技術を国内だけに留まらせるのではなく
もっと世界へ羽ばたいていこう。
無我夢中で進んできた10年間でした。
10周年記念は、新たな出発への門出。
ご参会の皆さまのご多幸を祈念いたします。

グループ会社の役職員が数多く参加し、10周年を祝って盛大な「祝賀会」を実施。

記念式典が終了した後は、北海道から九州まで全国８地域の会場で祝賀会が行われ、美味しい料理と仲間との懇親を楽しみました。
東京会場では、来賓として大株主の皆さまにもご参会いただき、10年をふり返るとともに、今後の成長に大きな期待をお寄せいただきました。

熱心にACKグループ成長について語る
弊社グループ野崎社長

盛り上がりを見せたチーム対抗ジャンケン大会

これからの抱負を語る今年入社した社員

豪華商品をかけたビンゴ大会。
同時にビンゴが出て大白熱のジャンケン

更なる成長に向けて―。全役職員が一丸となり、新鮮な気持ちで　成長を目指す。

全国８地域の会場で、ＡＣＫグループの新たな門出を祝福する貴重な時間を共に過ごしました。
また各会場では、「地域連携宣言」が行われ、改めてＡＣＫグループの絆を共有する機会となりました。

第10期のご報告

売上高・営業利益ともに２期連続で過去最高を達成

『中期経営計画 ACKG 2013』強化で着実に成長を遂げ、更なる社会貢献を行う企業グループへ

［株主の皆さまへ］

株主の皆さまには、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度の事業報告書「第10期 Business Report」は、10周年記念号としてお届けいたしました。

グループ設立から10年を経て、現在『中期経営計画　ACKG 2013』強化に基づき、戦略的に経営を実践し、着実に成果を挙げております。

売上高・営業利益は着実に伸長、受注高は海外市場で大きく躍進

国内公共市場におきましては、国土強靭化やインフラ保全に対する需要が継続し、防災・減災関連のハード・ソフト対策業務、橋梁・道路・河川・港湾等の維持管理業務の受注が引き続き堅調に推移いたしました。国内民間市場におきましては、首都圏におけるビル解体工事や、土壌汚染に係る調査・対策工事、温泉・井戸等の水資源に係る掘削工事の受注が順調に推移いたしました。

海外市場におきましては、需要の多い開発途上国でのインフラ整備を中心とした事業が堅調に推移するなか、南アジア・アフリカで大型案件の受注を獲得いたしました。

これらの結果、当連結会計年度の業績につきましては、受注高445億36百万円（前連結会計年度比12.6％増）、売上高375億99百万円（同7.9％増）、営業利益10億76百万円（同41.2％増）となりました。経常利益は10億99百万円（同32.1％増）、固定資産の譲渡による特別利益のあった前連結会計年度に対して、当期純利益は５億４百万円（同4.8％減）となりました。

「個の強化」を原動力に、新たな社会価値を創造

ＡＣＫグループは一層の社会貢献を行っていくために、ＣＳＲ版重点化プロジェクトを開始いたしました。

これは、「個の強化」によって生み出される重点化プロジェクトとCSR活動を組み合わせて、新たな社会価値を創造し、社会とともに成長していく取り組みで、すでに９件が始動いたしました。※

この他、重点化事業で次の成果を挙げることができました。

「再生可能エネルギー」では、岐阜県中津川市で飛鳥建設㈱様との協働による小水力発電事業を開始いたしました。売電益を利用して農業用水路を改修・更新する予定で、地域の経済的負担を軽減し、地域に貢献する事業です。

「海外新規開拓」では、これまで17年にわたって手がけてきた「大コロンボ圏外郭環状道路」の開通、ネパール国に対する地震復興支援事業への参画など、世界各国で社会づくりに貢献しています。

また、㈱ミライロ様との業務提携によるユニバーサルデザイン事業、㈱アマネク・テレマティクスデザイン様への出資によるドライバーへの情報提供サービス事業への参画など、着実に事業領域を拡大しています。

「連携の強化」を促進、グループの総合力を市場へ展開

第10期に「連携の強化」を推進するグループ施策を創設し、グループ連携による受注を約５億円獲得いたしました。今後はこれを活用しつつ、グループ各社の技術・サービスをワンストップで提供するとともに、グループの総合力を市場に展開し、３年間で約50億円のグループ連携効果（受注・生産）を創出して参ります。

今後も『中期経営計画　ACKG 2013』強化を推進し、着実に成長して参ります。

※主要プロジェクトの概要は「ACKグループ10周年記念誌」（平成27年8月28日発行）に掲載

株式の状況（2015年9月30日現在）

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	5,840,420株
株主数	3,242名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数（株）	持株比率（%）
ACKグループ社員持株会	541,120	9.3
オリエンタル白石株式会社	250,000	4.3
株式会社三井住友銀行	223,600	3.8
平野 利一	170,000	2.9
日本生命保険相互会社	152,000	2.6
清野 茂次	141,000	2.4
明治安田生命保険相互会社	140,000	2.4
三井生命保険株式会社	140,000	2.4
第一生命保険株式会社	140,000	2.4
株式会社三菱東京ＵＦＪ銀行	126,000	2.2

※所有株式数の割合は小数点第２位以下を切り捨てて記載しております。
※上記のほか、当社所有の自己株式 713 千株（12.2%）があります。

株主メモ

事業年度の最終日	9月30日
定時株主総会	12月中
基準日	9月30日（中間配当を行う場合3月31日） その他必要がある時は、取締役会の決議をもって予め公告いたします。
上場証券取引所	JASDAQ
一単元の株式数	100株
銘柄略称	ACKG
証券コード	2498
株主名簿管理人 （兼特別口座管理機関）	東京都千代田区丸の内一丁目４番１号（〒100-8233） 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 （電話照会先）	東京都杉並区和泉二丁目8番4号（〒168-0063） 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話　0120（782）031＜フリーダイヤル＞ 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告掲載	電子公告 ただし、事故その他のやむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。

住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について

・株主様の口座がある証券会社にお申し出ください。
・証券会社に口座がないため、特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

・株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

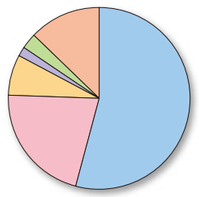
「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

所有者別株式数比率と所有単元株数別株主数比率

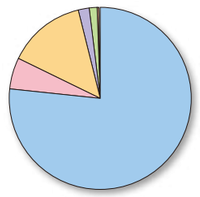
所有者別株式数比率（%）

個人	54.56%
金融機関	21.43%
その他国内法人	7.22%
外国人	1.83%
証券会社	2.75%
自己株式	12.21%



所有単元株数別株主数比率（%）

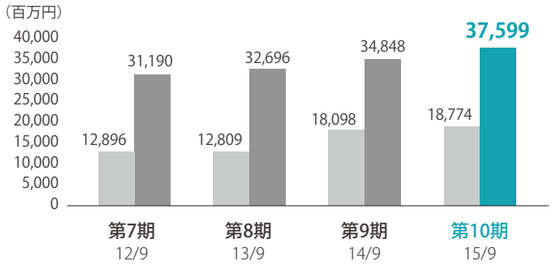
5単元未満	76.62%
5単元以上10単元未満	5.43%
10単元以上50単元未満	13.82%
50単元以上100単元未満	1.94%
100単元以上500単元未満	1.54%
500単元以上1,000単元未満	0.31%
1,000単元以上	0.31%
自己株式	0.03%



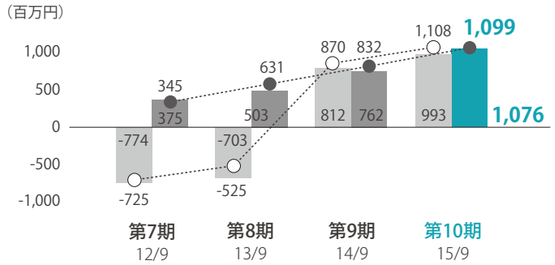
第10期　財務ハイライト

財務ハイライトの詳細は［ACKグループホームページ ― ＩＲ情報 ― ＩＲライブラリ］に掲載しておりますので、そちらをご覧ください。（http://www.ackg.jp/ir/library/index.html）

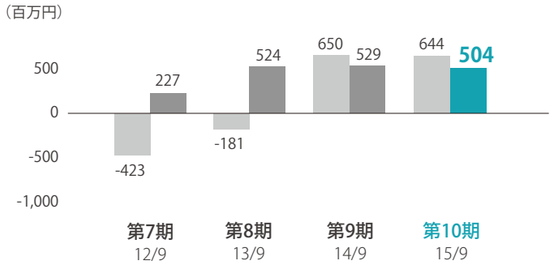
売上高



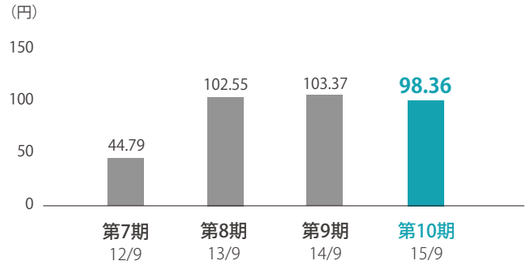
営業利益・経常利益



当期純利益



一株当たり当期純利益



VOICE! 株主さまの声

ビジネスレポートをご愛読頂き誠にありがとうございます。皆さまからのご意見をふまえた改善点をご紹介します。

改善しました!

財務状況に関する詳細情報を掲載して欲しい

財務状況に関する情報は、弊社ホームページの有価証券報告書に詳しく記載されています。当URLを財務ハイライトに、ご案内いたしますので、ぜひご覧ください。

改善しました!

座談会の字が小さくて読みづらい。字を大きくして欲しい

ご要望を踏まえ、今号は全てのページで文字を大きくいたしました。今後も読みやすく、皆さまに愛されるビジネスレポートを目指して改善してまいりますので、ご愛読のほどよろしくお願いいたします。

会社概要

商　　号	株式会社ACKグループ
所 在 地	〒151-0071 東京都渋谷区本町三丁目12番1号　住友不動産西新宿ビル6号館
資 本 金	503,062千円
設　　立	2006年8月28日
取引銀行	三井住友銀行 三菱東京UFJ銀行 三井住友信託銀行 みずほ銀行 伊予銀行
従業員数	1,840名（2015年9月30日現在　連結ベース）
代表取締役	野崎　秀則
取 締 役	森田　信彦 青木　滋 三百田　敏夫
監 査 役	藤澤　清司（常勤） 田代　真巳 高橋　明人

海外拠点

事務所

- ジャカルタ（インドネシア）
- マニラ（フィリピン）
- バンコク（タイ）
- ハノイ（ベトナム）
- ヤンゴン（ミャンマー）
- ダッカ（バングラディシュ）
- コロンボ（スリランカ）
- ニューデリー（インド）
- イスラマバード（パキスタン）
- ドバイ（アラブ首長国連邦）

現地法人

- インド
- インドネシア
- ミャンマー
- カタール

主要グループ会社

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

日本トップブランドの技術を確立し、社会インフラ創造企業へ
〒151-0071 東京都渋谷区本町三丁目12番1号 住友不動産西新宿ビル6号館

株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル

世界的な企業ブランドとグローバルな事業展開へ
〒151-0071 東京都渋谷区本町三丁目12番1号 住友不動産西新宿ビル6号館

株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング

地盤・地下水・建物のエキスパート、設計・施工のワンストップサービス
〒110-0014 東京都台東区北上野二丁目8番7号

株式会社エイテック

現場で培う経験と先進のICT技術が融合するチャレンジ精神企業
〒151-0071 東京都渋谷区本町四丁目12番7号 住友不動産泉西新宿ビル

株式会社中央設計技術研究所

北陸から全国へ展開する「上下水道のプロフェッショナル」
〒920-0031 石川県金沢市広岡三丁目3番77号 JR金沢駅西第一NKビル

株式会社リサーチアンドソリューション

お客様のニーズを的確に捉え、IT／BPOサービスで最適な課題解決
〒812-0036 福岡県福岡市博多区上呉服町12番33号

私たちは、ACK（アック）グループです。

感じてますか 未来の鼓動

株式会社ACKグループ

土木・建設分野を中心に、総合コンサルタントとして事業を展開。「世界の人々の豊かな暮らしと夢の創造　～サービス領域無限大へのチャレンジ～」をミッションに、インフラ・環境マネジメントなど幅広い分野で貢献しています。

〒151-0071
東京都渋谷区本町三丁目12番1号
住友不動産西新宿ビル６号館

［証券コード：2498］

JASDAQ

IR に関するお問い合わせ先

TEL：**03-6311-6641**　FAX：**03-6311-6642**
メールアドレス：**ir-ackg@ack-g.com**

http://www.ack-g.com

株主の皆様に必要な IR 情報を公開しております。　ACKG　検索

VEGETABLE OIL INK